

らいふ通信

ふちらいふ

lifsea
株式会社リフシア

HP/http://lifsea.co.jp
らいふ日記(スタッフブログ)
green.ap.teacup.com/lifekaigo

2014秋Vol.37

特集

敬老の日を祝う

9月15日敬老の日は、各地で様々なお祝いのイベントがありました。敬老の日は、「老人を敬い年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」と、お年寄りの日を定めた兵庫県多可郡野間谷村(昭和22年)が始まりだそうです。



25歳の新婚当時、妻のサトさんと一緒に撮影

リフシア萩園一番のご長寿

は寒川町の吉澤浩さん(大正元年12月18日生まれ102歳)です。そのお元氣ぶりに周りは常に驚かされ、ひときわ存在感があります。今号では、敬老の日を特集し、同居しているご長男のお嫁さんの吉澤町子さんにお話を伺いました。

萩園には90代の方が沢山通って来られます。中でも吉澤さんが一番のご長寿ですね。何か秘訣があるのでしょうか?



萩園の敬老祭、萩園愛児園の子供からプレゼントを受け取る吉澤さん

若いころからよく体を動かして、運動が好きでした。85歳過ぎて

も元気に老人会のお友達とゲートボールをしていましたから。それと自分でも食べ物には気をつけ

穏やかに誰とでもお話して下さいます。若い頃は、どのよ

うな人だったのですか?

昔は悪いことをしているのを見ると誰かれ構わず叱って、まがった



ていて、腹八分目を心がけています。大きな手術をするまでは毎晩おちよこ一杯のお酒を飲んでいましたね。今年の夏は

暑かったから日課の散歩ができず、足腰が弱ったのではないかと心配しています。



庭で運動、一休みする吉澤さん(H25.8満100歳の時)

玄関前の小屋で丹精込めて菊作り



萩園に通い初めて4年目ですね。高齢になるお父様がデイサービスに通う事に何か思う事がありますか?

戦争中の話ができるお相手がデイサービスにいらして、家でも私たちが食卓を囲みながらどんな話をしたか教えてください。普段より沢山話せるので、物忘れの予防になっているかもしれないね。同じ話を繰り返す事も増えましたが、家族で暖かく見守るようにしています。毎日を楽しく過ごしていますよ。萩園でリハビリをしてもらって、健康でいられるのが有難いです。



田端ゲートボール(老人会)の仲間と(前列右から2番目、82歳の時)

ことが嫌いな人でした。見て見ぬ振りができないというか、気持ちの優しい気配りのある人です。

来年は103歳、いつまでも元気で長生きして欲しいと願っています。

特集2 リフシア歳時記

敬老の日を祝う

一面に続き、リフシアの事業所から届いた敬老祭の写真を紹介します。100歳を超えるご長寿のみなさんが沢山いらっしゃいました。

萩園



今年もデイサービスの皆様と敬老会を開催、皆様で「長寿のお祝い」をしました。



職員の出し物!! 練習を重ねたドジョウすくいが好評でした!



おめでとうございます

よくできました



真剣に挑戦する所長のテーブルクロス引き↑
敬老祭の演目、拍手喝采のマジックショー→

香川



いつも元気な森谷さんは101歳のお祝い! →



今日も元気がいっぱい

柳島



中庭でサンマの炭火焼&流しそつめん。「おつかれさん! 乾杯!」「たまにはこんなのもいいな!」 設営から頑張った男性陣。遊び心をいつまでも、リフシア柳島の敬老祭。

松が丘



特大の手づくりケーキでお祝い!



今年100歳を迎えた山岸寿美子様のお祝いに茅ヶ崎市の服部市長がリフシア松が丘を訪問されました。



まだまだ若い者には負けませんよ!!

おめでとうございます

神明



がんばりました



敬老会では地域のボランティアさんに素敵なフラダンスを披露して頂きました。小さなお子さんのフラ姿にお客様も大喜びでした!



お祝いの花束を手に「ハイ・ポーズ!」

報告

リフシア10周年記念事業

去る8月30日、茅ヶ崎コミュニティホールに於いて地域や関係機関の皆さま約100名が集まり、リフシア10周年記念事業が開催されました。



常務取締役小嶋達之より開催の挨拶



講師のCLCグループ長：田所英賢氏

者が役割をもつて働く場所になつていくこと、現在の制度では

第1部の記念講演では、NPO法人全国コミュニティライフサポートセンターの田所英賢さんが「被災地の実践から、真の地域助け合いを考える」というテーマで、宮城県仙台市の「ひなたぼっこ」、石巻の「あがらいん」(地域食堂やケア付き住宅)が、当事者が役割をもつて働く場所になつていくこと、現在の制度では

10周年を機に各事業所は名称を「らいふ」から「リフシア」に替え、これからは多くの皆さまに信頼されるよう新たな一歩を踏み出しました。



約100名が参加し満席となった会場(茅ヶ崎市コミュニティホール)



挨拶に立つ、リフシア代表取締役加藤順一

「ぶちらいふ」コラムを執筆する井上さん(左)6年ぶり?に再会した編集室(み)



事業所ごとに手づくりパネルを作成し展示しました

参加したお客様から感想をいただきました



まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎 高見澤 和子氏

10周年記念講演のテーマに「被災地の実践から、真の地域助け合いを考える」を掲げ、NPO 法人のグループ長・田所英賢さんをお招きしたところに、リフシアの企業姿勢を感じ取りました。田所さんが「地域力を上げる」必要性を強調されていました。私も景観まちづくり活動のなかで同じことを思い、その難しさを感じているところです。いま、社会全体が新たなコミュニティのあり方を模索しているのだ、私も頑張ろうと、気持ちを新たにすることができました。



鶴嶺西地区民生委員児童委員協議会会長 井上 忠義氏

創業10周年、誠にありがとうございます。私たち民生委員・児童委員に求められる活動も生活保護や各種分野のサービス利用への協力など個別支援活動がますます求められ、地域の安全安心は、福祉ネットワークの充実にあります。また、高齢者の皆さんが笑顔をして欲しいというのが地域住民の素直な思いであります。人生を閉じる瞬間まで笑いがあふれるリフシアであることを心から願っております。

花だより 6 コスモス

コスモスはヒマワリと同じで、メキシコが原産地で、スペイン経由で世界各地へ伝わりました。日本へは明治時代にもたらされ、短期間に日本の風土に根付きました。

漢字では「秋桜」と書きま
す。「コスモス」の語源は、
ラテン語で宇宙・調和などの
意味があります。

コスモスは優しい感じのする
花で、多くの歌に詠まれてい
ます。

山口百恵の歌に「秋
桜」（コスモス）と
いう、嫁ぐ娘と母親
の情感を歌った歌が
最も印象的です。

♪淡紅（うすべに）
の秋桜（コスモス）
が秋の日の
何気ない陽だまりに
揺れている…

こんな小春日和の
穏やかな日には
あなたの優しさが
浸みて来る…

コスモスとは読みませんが、秋
桜子（しゅうおうし）という俳



号を持った水原秋桜子に次の句
があります。

コスモスを

誰れし蝶に

峪（たに）深し

自分の人生に重ねた、こんな
短歌もあります。

四十代この先

生きて何かある

風に群れ咲く

コスモスの花

道浦母都子

作者は全共闘歌人といわれた
歌人で、六十年安保の挫折感
が漂う、四十代の作です。私
は七十代で作者と

ほぼ同時代です
が、六十、五十、
四十代の人でも、
それぞれの年代で
同じような感慨が
湧くのではないで
しょうか。

茅ヶ崎で一番近い
コスモスの群生地
は、相模川河川敷
の平塚市側のバス停・「馬入
橋」で下車したところのお花
畑でしょう。秋風に揺れて咲
いているコスモスは、見る人
をロマンチックにさせてくれ
ます。（井）

ぶちらいふ

ハンドメイド作品展

by 神明



秋の作品として、木の実
や落ち葉でフォトフレ
ームを作りました



夏の風物詩を手作
りしていただく
ということで、ペ
ットボトルで作っ
た風鈴、風船と新
聞紙を使った提灯
を作りました



らいふ通信「ぶちらいふ」秋号 Vol.37

2014年11月15日（季刊発行）

編集／ぶちらいふ編集室

〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1

TEL0467-55-5102 FAX0467-55-5103

発行／株式会社リフシア

「ぶちらいふ」も創刊号（2005年ぶちらいふ秋号）から10年、当事者のインタビュウ、ご家族の投稿、井本さんのコラム、大川さん・加藤さんの挿絵、事業所を紹介する歳時記などをまとめ、なんと今年4回発行してきました。全てのバックナンバーを、ホームページでご覧になれます。また、編集室では挿絵・手づくり作品、俳句や短歌なども募集しています。これからも宜しく願います。

今号は敬老特集でリフシアを利用するご長寿の皆さまと敬老祭の写真を歳時記として紹介、リフシア10周年記念事業の報告を掲載しました。